

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	昭島ドリーム保育園
施設所在地	昭島市
法人名	一般社団ドリーム

1. 活動のテーマ

<テーマ>

梅雨の自然の音を聞く(雨の音、においについて)

<テーマの設定理由>

保育の中で野菜の水やりをしたり、水&氷遊びに触れる機会があったり、散歩中に水たまりや草花についていた水滴を見つけては興味を示す姿が多く見られたのでじっくり観察の機会を設けようと思った。

2. 活動スケジュール

令和8年6月～令和9年3月まで 概ね月1回活動予定である。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ビニール傘、おままごとで使用するお鍋やフライパン、プラスチック容器、画用紙、

- ・雨の降る様子を見たり、においを感じたり、どんな音がするのか耳を澄ませしてみる。
- ・1階エントランスに出て雨の音や素材や道具を使った音の違いを味わってみる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ビニール傘を持って真上から降ってくる雨を眺めたり、雨の音や温度を感じられるようにした。
- ・好きな色の画用紙を選び、画用紙を広げながら両手で持ち、落ちてくる雨を捕まえた。
- ・プラスチック容器やおままごと用のフライパン等で雨水を捕え、水の形状を観察した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・雨が降っている様子に耳を澄まし、「あめ、ざーざー」と雨の音を簡単な言葉で表現していた。
- ・画用紙が雨に濡れた模様や容器等に水が跳ねる様子に興味を持っていた。
- ・ビニール傘を持ちながら傘が濡れていく様子や雨粒がたくさんつく様子を夢中で観察していた。
- ・「雨のにおいはどんなにおいがするかな？」と保育者がにおいを嗅ぐ姿を見せると模倣していた。
- ・捕まえた雨に触れると「つめたい」と感じたことを言葉にしていた。

(写真)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・様々な素材を使って雨を捕まえることの楽しさを味わっていた。子ども自身が夢中になっている様子を見ながら不思議に感じたことや感じたことに共感し、自然現象に対する興味関心を深めていくことができた。
- ・散歩や遊びに行く中でも生活音や自然の音など子ども達が気付いた時に耳を傾け、発見した嬉しさを共有し、感性を養っていきたい。